

令和5年度第2回霞ヶ浦自然観察会実施結果

日 時：令和6年6月15日（土） 9時30分～12時

テーマ：霞ヶ浦で魚をとって観察しよう！

場 所：霞ヶ浦環境科学センターに近い霞ヶ浦湖岸および堤脚水路

講 師：中村 誠先生（元茨城県内水面水産試験場職員、当センターパートナー）

目 的：

霞ヶ浦には約50種の魚が生息し、そのうち、約20種の魚は湖岸でも捕って観察することができる。たも網や投網などで実際に霞ヶ浦の魚を捕らえる体験をすることで、霞ヶ浦の生物多様性の豊かさを体感する。さらに、霞ヶ浦が水産資源の場として重要な湖であることを認識し、その環境を守ることの大切さを学ぶ機会とする。

参加者：40名（子ども21名、保護者19名、16グループ）

担当職員：5名

パートナー：9名

結 果：

霞ヶ浦環境科学センターに近い霞ヶ浦湖岸と付近の水路で魚類の観察会を行いました。まず、水路で、たも網を使って魚を捕りました。水路は泥が多くよどんでいて魚がいるかどうか心配しましたが、予想に反してたくさんの種類と量の魚が捕れました。

続いて、霞ヶ浦の湖岸の方で、投網による魚の採集を見学しました。網にかかった魚は、参加者がみんなで網から外してバケツに入れました。生きた魚にはじめて触って感動したという声も聞こえました。

最後に、講師の中村先生から、捕れた魚についての詳しい解説を聞きました。先生からは、今日はたくさんの魚が捕れて、全部解説するには時間が足りないので、主な種類を解説しますとのことでした。魚は、ミルソーという容器に入れて、大変見やすい状態で観察できました。

今日は、天気恵まれて、少し暑かったですが、気持ちい風が吹いて絶好の観察会日和になりました。いろいろ教えてくださった中村先生はじめ、親切に対応してくださったパートナーの皆さん大変ありがとうございました。

下に、中村先生に解説していただいた主な魚類について掲載します。

ギンブナ

マブナともいう。ギンブナは普通メスしかいない。ほかの種類魚の精子で刺激を受け、卵は受精しないで発生する。生まれた子どもはメスばかりになるというしくみ。フナの仲間は霞ヶ浦周辺に、ギンブナのほか、キンブナ、ゲンゴウロウブナがいる。

タイリクバラタナゴ

アジア大陸東部原産の外来種。タナゴの仲間は霞ヶ浦では、在来アカヒレタビラなども見られるが、ほとんど見られるのはこの種で、オオタナゴ（特定外来生物）も生息する。

採集した個体のお尻に糞のように見えるものがついていたが、これは産卵管である。

ツチフキ

えら蓋から土を吹くのでツチフキというが、これは卵を産む場所をつくるための行動である。よく似た魚にカマツカという魚がいる。カマツカはきれいな砂地に生息するのに対し、ツチフキは泥底生息する。

ボラ

とれた魚は小さくてまだ1年もたたないもの。石についた藻（コケ）を食べている。エサのある石のところによく群れている。成魚は海に戻って産卵し、稚魚はまた川に上がってくる。海に戻らず越冬する場合もある。

ウキゴリ

この水路でウキゴリが捕れることは今まであまり無かった。ハゼの仲間。

アシシロハゼ

この辺ではトラゴロともいう。体の脇にトラのように縞が見られるのでこう呼ぶのだろう。

霞ヶ浦周辺ではハゼ類のことをゴロとよぶが関西ではハゼ類のことをゴリという。

ヨシノボリ

ハゼの仲間。稚魚は湖内で成長して、この季節川に上ってくる。このとき大きな群れで湖岸や川岸を進むのでトオリゴロともいう。

ドジョウ

最近カラドジョウという外来種もいるそうだが、これは在来のドジョウ。雌雄は胸びれの形で見分けることができる。オスのひれは扇（扇子）のような形をしているのに対し、メスのひれは丸いうちわのような形をしている。捕れた個体はオスである。

テナガエビ・スジエビ

霞ヶ浦周辺にすんでいるエビ類は、テナガエビとスジエビの2種類。テナガエビの手が長いのはオス。おなかに卵を抱えている個体も見られるがこれはメス。孵化するまで卵は抱えて保護する。から揚げなど食用にする。たいへんおいしい。

横縞模様が見られるのはスジエビ。日本で完全に淡水産（真水にすむ）のエビはこのスジエビくらいである。

ウシガエル

大きなオタマジャクシは、たぶんウシガエルであろう。カエルになるまで2～3年かかる。特定外来生物。食用としてアメリカから導入したものが野生化して繁殖。

アメリカザリガニ

昨年、条件付き特定外来生物に指定された。ウシガエルのえさとしてアメリカから導入されたのが最初。

スクミリンゴガイ

ジャンボタニシともいう。ピンク色の毒々しい卵を産む。もともとは食用として日本に持ち込まれたものだが野生化して農作物に被害を及ぼす。

第2回霞ヶ浦自然観察会



魚捕りの前に講師の中村先生の説明を聞く



水路に移動してたも網を使って魚捕り開始



予想以上にたくさんの種類の魚が捕れる



投網による捕獲を見学する



みんなで投網にかかった魚を採集する



捕れた魚についての中村先生の解説を聞く



産卵管を出しているタイリクバラタナゴ



大きなテナガエビ（右）とスジエビ（左）